

## 都島だより

発行責任者

石川 芳夫

〒265-0043  
千葉市若葉区中田町1193-13  
TEL 043-228-2102一般社団法人浪速工業会  
都島クラブ会報

2016年(平成28年)1月 第52号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056  
横浜市港南区野庭町696-6  
TEL045-841-8885

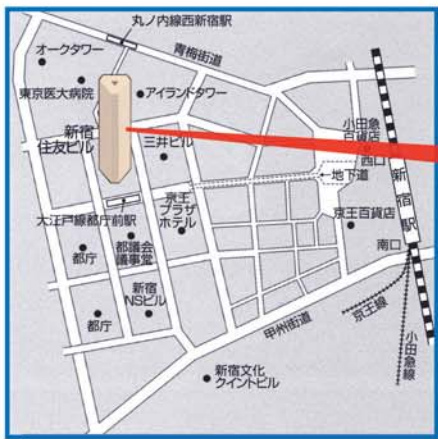
E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28岡田 宏三

NEWS52号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ 現在会員数 ◆ 合計506名

◆M・機械104名、ME・機械電気26名◆A・建築88名◆E・電気・電子工学167名◆C・土木・都市工学40名◆CI・工業化学・理数56名◆L・普通13名◆工専12名



交通のごあんない

JR〔新宿駅西口〕より 徒歩8分

東京メトロ丸ノ内線〔西新宿駅〕より 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線〔都庁前駅〕直上

本年度も  
新宿住友ビル47階東京住友クラブ  
にて開催します！平成27年度  
総会のご案内一般社団法人 浪速工業会 都島クラブの今年度の  
総会を左記の通り開催いたします。ご多忙中の  
こととお察し致しますが、万障お繰り合わせの  
上げびご出席ください。

●日時 平成28年4月23日(土) 13時~16時

●場所 東京住友クラブ

新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47階

TEL:03-3344-6285

●親睦会費 7,000円(女性会員は4,000円)

●平成年度卒業会員は無料！

※同封の返信はがきに出欠をご記入の上、  
3月31日までに必ず投函して下さい。

## 一般社団法人浪速工業会・都島クラブ総会

2016年4月23日(土)  
13:00 開会

昨年度総会の様子

同期・先輩・後輩お誘いあわせの上  
何卒多数ご参加ください

## 昨年度の総会ご出席者

|       |                        |                               |                                |                    |
|-------|------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 来賓    | 岩地馨 理事長、寛座純一 学校長       |                               |                                |                    |
| 機械科   | M16若狭仙治<br>7名          | M26上田英雄<br>M38仲西 正            | M34石川芳夫<br>M42前田範行             | M36西村 功<br>M42山口忠雄 |
| 機械電気科 | ME40松本良治<br>1名         |                               |                                |                    |
| 建築科   | A28岡田宏三<br>10名         | A28酒井 保<br>A44水守恵子<br>A59尾川浩之 | A36光山恵治<br>A48森本良平<br>A平21畠山 稜 | A37森 芳信<br>A57信原利行 |
| 電気科   | E20真鍋静夫<br>9名          | E29岩崎亮平<br>E35芳仲 宏<br>E36赤尾仁史 | E29小林孝榮<br>E36石垣英明             | E35田中 浩<br>E36馬江治喜 |
| 土木科   | C18秋月勝美<br>4名          |                               |                                |                    |
| 工業化学科 | C137五十嵐三喜雄<br>3名       |                               |                                |                    |
|       | C26佐藤裕能<br>C33明見和彦     |                               |                                |                    |
|       | C33松本信行                |                               |                                |                    |
|       | CI37五十嵐三喜雄<br>CI38岩井 誠 |                               |                                |                    |
|       | CI40菅家亘通               |                               |                                |                    |

参加者34名+来賓2名 合計36名



## 陶芸会報告

ME平16 岡崎 彰

平成27年10月10日(土)、恒例の青瓷会主催の陶芸会が、柚木氏の「くにたち自遊工房」にて開催されました。私は今回で四度目の参加となったわけですが、この日は妻と娘も連れ、三人でお邪魔させていただきました。妻には育児の気分転換にどうかと思ひ、誘った次第です。それに加え、日本での陶芸をタイ人である妻に知ってもらう良い機会でもありました。今回は生後五ヶ月程の赤ん坊を連れて行ったため、あまり作業時間は取れないと思ひ、作品のアイデアも工程もほぼ直感に頼った、平たい大きな皿を作りました。土を丸棒で転がしながら伸ばし、自然と形になった歪みをそのままに、そこに縁取りをしておおよその形を整えました。最初からデザインを決めて作るのも良いですが、自分でも思ってもみない物が作られるのもまた面白いだろう、という楽しみ方で攻めてみました。一方妻



陶芸会の参加者

は、長方形の板状の土をベースに、「OKAZAKI」というローマ字表記の名字と、縁辺への装飾をこしらえた、我が家の表札を作っていました。文字を作ったり配置のバランスを考えたり、一つ一つ丁寧にやっていたりなど、横目で見つつ思っていました。娘の方は、手形を作りました。生後二週間の時にも手形と足形を取ったことがありましたが、その時は紙に手や足を押しつけようとして、動いたり手が開いてなかったりして大変でした。ですが今回の手形はすぐに取ることが出来て、いくらかばかり成長しているのかなと感じました(とは言え、柚木氏をはじめ、奥様や工房のスタッフの方々に、娘の面倒を度々見ていただきました。大変感謝しております)。後日、出来上がった作品を送っていた



作陶中の様子

NHKのスタジオ見学会はずいぶん前にも実施されており、その折はドラマのセット等も見学しております。今放映中の「花燃え」「まれ」等のセットを見ることが出来ればという期待のもと実施したものでありますが、残念ながら時代の変遷により主要部が子供向けの展示等になっており少々期待外れの結果となりました。8月23日(日)14時に渋谷ハチ公前に集合し、曇っていても暑い盛りにポチポチと登り坂を歩いて迷う事なくNHKスタジオパークの入り口にきました。夏休み中であることから多くの子供連れの家族が来ていました。入り口近くに8Kスーパーハイビジョンで大画面の超高精細映像と、臨場感あふれる立体音響で宇宙の星座の画面を写していました。そ

NHKスタジオパーク  
見学会の報告

E 36 馬江 治喜



焼成後の作品



くにたち自遊工房の看板

じられなかった点が、改めて見ると結構違ってくる——仕事でも何でも、自分のやってきたことはどうだったのだろう・・・と脳内で大袈裟にして、一人反省会をするのであります。

の後はスタジオギャラリ、メディアウォールと周り、スタジオでのラジオ放送を見物し、子供達がタッチパネル等でいろいろ楽しんでるのを横目に見ながら、結構長い展示会場を約1時間余りかけて見て回りました。我々高齢者にはやはりドラマライブラリー等が懐かしく感じられ、今までに放送された大河ドラマに使用された小道具の展示に興味がありました。見学後にNHK前で記念写真を撮って、渋谷のカラオケ店での懇親会で楽しくビール等を飲んで散会しました。

参加者 M 34石川代表、M 36西村氏、E 36石垣氏、E 36笹治氏、E 36竹村氏、E 36馬江、計6名。



NHK前での記念写真





## 有情・無常の道

## シルクロードを往く

【その2】



A 27 田中 瑛也

【Mニュース51号より続き】

●微かに栄華の痕跡遺すマリクワト故城

カシガルから西域南道を東へ500kmホータンに入る。ホータン【写真1】は如来像思想発祥の地として名高い。心に像を描く、安心立命、一乗から三乗へと大乘の教えが展開を遂げた土地である。玄奘三蔵がインドより持ち帰った經典の一つに唯識三十頌があるが、この經典を彼は帰国後唯識論なる論を著書を書いたことは、巷間に知られているが、自己修行聖道門で悟りを得ることの出来ない衆生の救済に、浄土門へを導く教えが如来像思想であり、いわば唯識思想の対極に存在する教えである。同じアジアでも木陰の下で瞑想をして悟りの境地に達する環境と、草木も育たない沙漠との環境の変化が、種子は同じでも修行の道に異なりを見せる。この大乘の教えは、朝鮮を経由してあるい



写真1・ホータンの街

は直接中国から我が国に渡来して、日本仏教として我が国民の精神的支柱となったことは、周知の事実である。この期待感を抱いてホータンに着いたが、ウイグル族の民族色に彩られたイスラムの町の印象を受ける。都心の核にモスクを形取った建物を据え、その周辺にその名系国際大と大きな垂れ幕がかかり、カシガル以上の盛況を、呈している。この都市の変革は、大乘仏教を信奉した尉一族が建国した宇蘭国(BC242~AD1006)と盛衰激しいシルクロード諸国家群の中では、永続した国家であり法顕、玄奘等多くの高僧が当地に寄留した。中世に入りカラハン朝の支配とともに極度にイスラム都市に変貌した。その根拠は荒れ果てた遺跡に顕れる。整然と並ぶボブラの並木道、その道を砂塵をたててバスは走る。その並木道の木立が切れると、広大な土漠が視界に入る。マリクワトの城趾とガイドは説明するが、土塊の塊が500m~1kmの距離をおいて点在する。土星が泥の堆積物と化した。一千年の星霜、イスラムの統治の歴史がこの遺跡を荒廃させたのか。自然に砂による埋没か。入り口にわびしく遺跡名を刻んだ石碑が立っていた。【写真2】この古城の敷地に沿って流れる白玉河は、ホータン玉の採取地として知られているが、玉石混淆とはよく言われるが、川辺に下りて玉を見いだせるとしばらく探したが石のみで玉のかけらも見つからない。それでもウイグル人のガイドは、玉を拾い持ち帰る人もいと高笑いする。現在は、仏教遺跡の観光よりも、ホータン羊の毛で編んだ絨毯、白玉、シルクを金を稼ぐホータン、近年西域北道のアクスと新タクマラカン沙漠縦断道路が開通すると州都ウルムチとも交通の便がよくなり、町が活況を呈すると土地の人々は期待を寄せる。

## ●エネルギー資源眠るタクマラカン沙漠縦断

日本人のシルクロード観光の目的の一つは、玄奘、法顕等の高僧がインドより經典を中国にもたらし、今日まで続く東アジアの精神的支柱で



写真2・マリクワト故城を示す石碑

ある仏教の普及に貢献した足跡を、偲ぶ遺跡訪れこと、他方中国内陸部に横たわるタクマラカン沙漠縦断で広大な自然の中に、没入したい探険心にある。現在敷かれている沙漠縦断道路は、西域南路ニヤ(民豊)から西域北道リントイ(輪台)が唯一の道である。ニヤに入る前に西域南道の小都市ケリアに立ち寄った際に真新しいモスクが存立していたのが、心に遺った。清真寺と名付けられているが規模は小さい。多民族国家中国は少数民族の統治に配慮して、ウイグル人の篤信するイスラム教に寄与するモスクの建立を容認し、国家内の民族融和の相の一つとして写る。現在中国は、超大国アメリカの政治力、経済力に対抗するために、ユーラシア大陸内の国家群、ロシア、中央アジアの国家等とも連携して上海経済機構と称する機構を設けて、大連合組織として国の経済力の増進を語っているが、反面隣接するカザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタン等のイスラム諸国との民族問題も抱えており、国境をこえての中国民族との軋轢、イスラム原理主義の中国への浸透と地下に眠り、産出する石油に火が付いて地域紛争が起きなければいけいと懸念する。ケリア

からニヤまで西域南道を東へ二時間車は走る。沙漠公路のけばけしい看板、進行方向を替える552kmのハイウェイに入る。公路に入って窓外の眺めは沙漠よりは土漠と呼ぶほうがふさわしい。しかし公路を進行するにつれて流砂の丘【写真3】が視界にはいり、初夏の強い陽光を受け無人の沙漠を往くえも言えぬ感が次第にわき上る。この沙漠の拡大の防止と現状の保存に中国政府は、防砂林を設置して管理している。公路に沿ってスオスオ、スナナツメ、タマリスクの幼木が整然と植えられてこれらの植物の給水するために、ポンプ小屋が3~4kmおきに設置され中国内地からの出稼ぎの人々が管理にあたっている。吹く風はさほど強くないが、砂は砂塵、浮塵と化して天空を覆う。海面に風が吹けば、波が立つ如く、沙漠に風が吹けば、砂も波立つ。縦断公路は真直線道路、単純運転により生ずる事故を防ぐ為に。写真撮影、トイレ休憩を数多く行い、沙漠公路出口ゲート輪台に着く。西域北路に出会い車は方向を西に向け、クチャを目指す。長い一日であった。

【つづく】



写真3・タクマラカン沙漠

この原稿は2006年に田中瑛也氏より寄稿戴いていましたが、スペースの都合でこれまで掲載が出来なかったことをお詫び申し上げます。【編集担当】





## 秋のゴルフコンペ報告



E 36 竹村 繁幸

晩秋の小雨が降ったり止んだりの中、11月25日(木)に野田市の紫CCで実施しました。当初12名の参加予定でしたが怪我や体調不良により9名でのラウンドとなりましたが澤田実さん(A42)が初参加していただきました。優勝はGR84(HC6)NET78の室田さん(A42)BGも実力第一人者の室田さんの84でした。写真は前列左より片桐、室田、長谷、後列左より澤田、前田、菅家、太田、山本、竹村(敬称略)。

皆さんの同期や後輩で知り合いの方がおられましたらお誘い願います。次回の春のコンペは4月中旬の予定で、詳細が決まりしだい皆さんに御案内いたします。



秋のゴルフコンペ・紫カントリークラブにて

城下町散策と蘇った  
大多喜町役場見学に参加して

A 平21 島山 稜

11月14日(土)に千葉県夷隅郡大多喜町の城下町散策、大多喜町役場見学、懇親会に参加しました。今回はあいにくの雨模様でしたが、先輩方と触れ合える大変有意義な時間でした。大多喜町役場の旧庁舎は、今井兼次氏による設計で1959年に建築学会賞、2013年にはユネスコのアジア太平洋遺産賞を受賞した作品です。正直、私は見学するまではほとんど知らない建築家でしたが、調べてみるとスペインの建築家アントニオ・ガウディに強い関心を持ち、日本へ紹介したことでも有名な方でした。作品の中にガウディのサクラダ・ファミリアの尖塔のような建物のデザインを感じさせる部分がたくさんありました。強く印象に残ったのが入り口部分にあるキャノピーでした。遠くから見るとごく普通のキャノピーなのですが、天井には蛇行した夷隅川を描いた梁が通り、3本の柱が千鳥状に立っています。波のように時間がゆっくり流れているかのような不思議な気分になりました。他にも、ロビーの天井に煙突掃除のブラシを使ったトップライトの装飾屋上にコンクリートのオブジェが設置してありました。特に驚いたのが、階段の壁の一部を同じ仕上げを使用しているのにも関わらず、全く違うものに見えることです。次に新庁舎を見学しました。旧庁舎の裏側にあり外観はスクエアのシンプルな建物でした。外壁に使用されていたのは亜鉛メッキの鋼板でしたが、その上にリン酸処理がされていて亜鉛鉄板の模様が残りながら、濃いグレー色に仕上げられていました。亜鉛鉄板の濃いグレーとサッシのシルバーとのコントラストが好きでした。大多喜役場や城下町を見学して色々な建物を見ることで設計やデザインでの

考え方や幅を広げる大事なことで改めて感じました。その後、夷隅鉄道に乗って懇親会会場に向かいました。懇親会では先輩方の仕事の話など色んな話を聞くことができ、とても楽しい有意義な時間を過ごしました。卒業してもこんなに先輩後輩との繋がりがあるのは都島工業だけじゃないかと思っています。私は先輩方の話を聞いて価値観や考え方が変わりました。これからは見学会などに積極的に参加して自分を高めていきたいです。参加したことがない方は面倒くさいと思っているかもしれませんが、一度参加すると自分の価値観が変わると思います。これを読んで一人でも参加する方がいたら嬉しいです。



関東青薺会・大多喜町役場にて

## 事務局よりお知らせ

## ① 成世昌平氏

## ブルーレイディスク貸し出し

民謡歌手でC I 45年卒・堀辺茂樹氏(芸名・成世昌平氏)の30周年記念コンサートのブルーレイディスクを本部より1枚預かっております。貸し出しご希望の会員は事務局へご連絡ください。郵送費実費でお貸し致します。



## ② 浪速工業会費納入のお願い

都島クラブの運営はご承知の通り浪速工業会費(3千円)の内の3分の1の還付金で賄われております。近年の還付金は約10万円に減少し、一方会の運営費用(Mニュース発行、事務連絡費、幹事会会場費用等)は還付金を上回り、翌年への繰越金は毎年10万円程度減少しつつあります。ご承知の通り総会、旅行、ゴルフ、見学会等行事に係る費用は参加者の負担とし、幹事会の会場費用も出席者が1千円負担し、交通費も自己負担で運営しています。また、必要経費については特に金額の大きいMニュースの印刷、発送費用をぎりぎりまで切り詰めておりますが、このままでは必要経費が還元金を上回っており、3年足らずで経費不足で運営が危ぶまれる危機にあり、現状を維持するには会費未納入の皆様にご協力をお願いする以外手段がないと考え、ご協力をお願いする次第です。そして先輩より続いているこの組織を是非とも継続致したく会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。尚、浪速工業会費の振込用紙は事務局に連絡頂ければ送付させていただきます。

## 【訂正とお詫び】

前号51号にて、新代表ご挨拶の石川様の卒業科名をE34と記載いたしました。正しくは「M34」です。訂正しお詫び申し上げます。

(編集担当)

## 訃報

|         |         |          |
|---------|---------|----------|
| C11年卒   | 和久田 実次氏 | 平成27年6月  |
| M14年卒   | 静間 敏男氏  | 平成27年5月  |
| C16年卒   | 羽間 義雄氏  | 平成27年4月  |
| C18年卒   | 秋月 勝美氏  | 平成27年10月 |
| A22年卒   | 井上 義昭氏  | 平成27年10月 |
| C26年卒   | 中山 毅氏   | 平成27年2月  |
| 高専C26年卒 | 岡部 敏彦氏  | 平成27年4月  |
| E36年卒   | 細川 俊氏   | 平成27年7月  |

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号の  
Mニュースは平成28年7月  
発行予定です。

事務局メールアドレス

har1942umae@iris.ocn.ne.jp

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ事務局・馬江 治喜